

夏休み子ども講座を開催しました

夏休み子ども講座 7月はくらしフェア内で開催

レッツトライ！パッククッキング(7/24)

災害時の食事の工夫を学びました。家にある食材で作ることができます。今日はツナ缶と野菜ジュース・カレーを入れた袋と同体積の水と米を入れた袋を20分程湯煎して出来上がり。カレーとご飯が一つの鍋で出来上がります。大事なことは高密度ポリエチレンの袋を使うことです。20分くらいでカレーライスが作れてびっくりしました！

カップと袋だけで簡単に作れておもしろかった、忙しい時にも役に立つと喜ばれました。



親子で学ぶ安全安心なネットの使い方(8/1)

SNS やオンラインゲーム、生成 AI などのアプリには知らない間に被害者や加害者になる脅威があります。これからスマホを使い始める、もしくはもう使っている子どもをこれらの脅威から守るためのネットリテラシーをあげる重要性について、事例を題材にした対話形式で講義が行われました。良いことが悪いことを考える癖をつけること、自分や他人の個人情報公開しないこと、困った時にはすぐに大人に相談することなどを学びました。



おやつ甘さを測ろう(7/24)

清涼飲料水・アイスクャンディー・キウイフルーツなど9種類のおやつの糖度を糖度計で測定しました。甘さを砂糖の量に換算し、実際にはかり、目で確認しました。その量の多さにびっくりしていました。



親子で作る 東京の木でマイ・箸づくり(8/8)

東京の森林や「育木」を学び、東京都の面積の1/3が森林と知り、改めて驚いていました。カッターナイフを安全に使う説明の後、東京の檜(ヒノキ)の間伐材で箸の形状に四角くカットされた材料を、カッターと紙やすりで好みの箸先に仕上げました。木の素材から物作りをする経験があまりないこともあり、親子で競い合う姿も見られました。恐る恐るの手つきも次第に慣れ、箸の形が見え、檜の香りも楽しみ、紙やすりで仕上げの後、木工用塗料を塗ってでき上り。

このお箸でご飯を食べるのが楽しめ、大事そうに持ち帰りました。



太陽熱でお湯を作ろう(7/25)

太陽熱温水器簡易キットを作り、お湯ができる仕組みを学びました。

みんな楽しそうに手際よく作り上げていました。出来上がったキットを大事そうに抱えて「お湯になるしくみがおもしろかった」「家で実験してみる」と口々に話していました。



相談室



公式サイトだと思ったら…

ESTA等の 申請代行サイトに注意！

海外旅行の際にアメリカのESTA、カナダのeTA等の電子渡航認証や入国カードのオンライン事前申請が必要な国が増えています。それに伴い、センターには電子渡航認証等の申請代行サービスに関する相談がたくさん寄せられています。

《事例1》

アメリカ旅行のためインターネットで「ESTA 公式」と検索し、出てきたサイトで申請手続きをした。申請はされたが、クレジットカードの明細を確認したら、約4万円と高額だった。詐欺サイトだと思う。キャンセルしたい。（40代）

《事例2》

オーストラリア旅行のため、インターネットでETAの申請をした。代金2万円はクレジットカードで支払った。その後、事業者と連絡がとれず、調べたら旅行者本人が公式アプリで申請しなければならなかったと分かった。返金してほしい。（80代）

《事例3》

韓国旅行のために電子入国カードの手続きをした。クレジットカードを登録したら、無料のはずが約3万円の請求が上がっていた。出発前日に申請がされていないことがわかり、自分で申請した。支払いたくない。（60代）

《アドバイス》

事例1は、センターにて申請代行サイトを確認したところ、代行サービスであることや申請手続き開始前であればキャンセル・返金ができるが、手続き開始後のキャンセルはできないと表示されていまし

た。既に申請手続きが完了しており、キャンセルは難しいと思われることを説明しました。事例2は、オーストラリアのETAは代行業者が申請することができず、詐欺の可能性があると思われました。事例3は、申請がされていないので、代行業者に支払いたくないと申し出るよう伝えました。

申請代行サイト検索の上位に出てきた申請代行サイトを公式サイトと勘違いして申し込んでいるケースが目立ちます。申請代行サイトを利用すると、本来の申請料の他に代行手数料がかかり高額になることがあります。申請手続きがされた場合は、既にサービスが提供されているため、返金を求めるのは困難です。公式サイトかどうか十分に確認しましょう。渡航先の在日大使館等のホームページや外務省海外安全ホームページの国別情報を参考にしてください。また、申請代行サイトを利用した場合は、必ず公式サイトで申請状況を確認しましょう。

カセットこんろは 正しく安全に使いましょう！

カセットこんろは、簡単に持ち運びができて便利なことから多くの人に使用されていますが、カセットボンベの破裂が起きると大きな事故につながります。

1. 取扱説明書をよく確認して正しく使いましょう。
2. カセットボンベは正しく取り付けましょう。
3. 大きな調理器具は使わないようにしましょう。
4. 禁止されている方法で使わないようにしましょう。

これらの使い方は、カセットボンベの過熱が続くため、特に破裂の危険が高くなります。

- ・カセットこんろを2台並べて使用する
- ・異なる調理器の上に置く
- ・炭起こしに使用する

（東京くらし WEB 2024.4.11）

《消費生活センター 今後のイベント予定》

「噛めるお口の大切さ～食べる・笑う・生きる力～」

10/14（水）午後1時～午後3時 町田市民フォーラム3階 視聴覚室

「時短でおいしい麹調味料を作ろう～発酵食品を毎日の食卓に～」

10/23（金）午前10時～正午 町田市民フォーラム3階 テスト室